



令和2年9月1日

【 巻 頭 言 】

～ 子育てワンポイント ～

●子育ての時間を優先してつくる

親として、豊かな心を持つ子に、広い心を持つ子に、あるいは思いやりのある心を持つ子に育てたいという願いがあります。そういう心をまとめて豊かな心といいますが、それらは親の忙しさの中では育てられません。今は共稼ぎの親が多く、親は両方とも忙しいですね。子どもが小さいときは、親が話し合ってどちらかの仕事を出来るだけセーブする。それから家族で仕事を分担して、母親ができるだけ赤ちゃんに接せられるような時間をつくってあげましょう。

特にお父さんができるだけ早く帰ってきて、自分のできる仕事をしてあげてください。洗濯物をたたむとか、料理はお母さんが作ったとしても、それ以外の家庭のことを分担して手伝う、そういう関り方がとても大事だと思います。

すべてに優先して親とか祖父母とか兄弟姉妹とか保育園の教師とかが愛情あふれる心地よい触れ合いを積み重ねていくことで、子どもの心に安定した情緒が育っていきます。

●子どもは親が育てたように育つもの

躰をきっちりとして育てた人は、少年期後半頃より、それらが第二の天性となって、自分らしい個性を発揮しながら人生を豊かに生き抜きます。ナポレオンの名言に、「子どもの運命は常にその母が作る」とあります。子どもは親が育てたように育つものです。子どもに言って聞かせたことよりも、親がしてきた通りのことをする人になります。次は私の反省を含めて申します。子どもより親（自分）の仕事が優先で、親の都合のいいように子どもを振り回して育てると、子どもが中・高生になって、逆に親が振り回されるようになります。

子どもがすぐキレたり、かんしゃくを起こすのは、子どもが小さい時期に、親の思い通りにならないと、親自身の心を優先し、ヒステリックになったり、ガミガミ言ったり、子どもを不安がらせたりする親の生活のクセが、子どもの心にコピー（刷り込み）されるからです。子どもは親に気づいてもらうまで SOS のサインを送ります。

裏面へつづく

●子どものサインには意味がある、そのとき親は

①子どもに寄り添い、愛情を注ぎ込みましょう。

②生活の中に答えがあります。子育て開始から今日までの親の心の在り方、生活態度を省みましょう。思い当たることを子どもに素直に話しながら、謝ることです。

③話を聞かないときは、手紙を書いて、机の上に黙って置いてみましょう。そうするとほとんどの場合、読んでくれます。

④親が自分の心のクセ、生活のクセを認め反省しましょう。そのときから子どもに自然と寄り添うことが出来るようになり、愛情を注ぎ込む知恵が出てきます。そのときから子どもの心は、落ち着きを取り戻し、サインが消えてゆきます。

⑤子どもと話をするときは「目線を合わせて」、しっかり向き合い話すようにしましょう。親の厳しさと優しさが心に伝わります。「サイン」は、親も子どもも変わるチャンスです。まず親が変わることからです。一緒に生活しているのですから、生活の中に答えがあるのです。

仁愛保育園初代園長 石橋 富知子著『子育ての秘伝』より引用



♪ 今月の歌 ♪

虫のこえ

- 一、あれ松虫が 鳴いている
チンチロチンチロチンチロリン
あれ鈴虫も 鳴きだした
リンリンリンリンリーンリン
秋の夜長を鳴き通す
ああ おもしろい虫のこえ
- 二、キリキリキリキリ きりぎりす
ガチャガチャガチャガチャ くつわ虫
あとから馬おい おいついて
チョンチョンチョンチョンスイッチョン
秋の夜長を鳴き通す
ああ おもしろい虫のこえ

とんぼのめがね

- 一、とんぼのめがねは水色めがね
青いお空を飛んだから
飛んだから
- 二、とんぼのめがねはピカピカめがね
おてんと様を見てたから
見てたから
- 三、とんぼのめがねは赤色めがね
夕焼け雲を飛んだから
飛んだから



9月の行事

- | | | |
|--------|----------------|------------------|
| 15日(火) | 歯科健診 (はと組～きく組) | |
| 17日(木) | 誕生会 | 9月生まれのお友達をお祝いします |
| | 避難訓練 | 緊急、災害時の避難の練習をします |